

ビジネス・データサイエンティスト養成プログラム カリキュラム・時間割(予定)

	時間	月曜日	火曜日	木曜日	金曜日
1年 春学期	奇数週	18:30-21:40	データ分析リテラシーⅠ ビジネスデータ分析入門		データ分析リテラシーⅡ モデル分析
	偶数週	18:30-21:40	ビジネスデータサイエンス実践Ⅰ 分析レシビライティング		データ分析リテラシーⅢ 統計学
1年 秋学期	奇数週	18:30-21:40	データマネジメントリテラシーⅠ DBとSQL		ビジネスデータサイエンス実践Ⅱ ビジネスデータマッピング
	偶数週	18:30-21:40	ビジネスデータサイエンス実践Ⅲ 問題解決とデータ解析		データ分析リテラシーⅣ 分類・機械学習
2年 春学期	奇数週	18:30-21:40		ビジネスデータサイエンス実践Ⅴ 先端事例とその活用	データマネジメントリテラシーⅡ データマネジメントシステム
	偶数週	18:30-21:40			
2年 秋学期	奇数週	ゼミによって 開講時間が 異なります	ゼミ・プロジェクト(修論指導)		
	偶数週				

新プログラム開講

ビジネス・データサイエンティスト 養成プログラムのご案内

～ ビジネスでの問題解決にデータを活かせるビジネスパーソンへ ～

1年次は、月・木に科目配置。2年次は火・金に科目配置。2年次(秋)はゼミ(修論)になるため、指導教員と相談して科目配置。
ビジネス・データサイエンティスト養成プログラムの通常科目は、10科目×2単位=20単位。
通常科目以外に、夏・冬に集中講義を予定しております。(2013年度はデータサイエンス技術入門(集中R講座)を開講。)
そのほか、MBAで展開されている科目を履修します。修了要件は30単位。

入試について

AO入試 入学時期は4月のみ。このビジネスICTコース希望の場合には、事前に必ず biz-ict@gr.tama.ac.jp までご連絡ください。

- 学費 入学金:30万円(初年度のみ)
授業料:年間100万円(半期毎に50万円の支払い)
- 入学期 平成26年4月
- 募集定員 5名
- エントリー期間 平成25年10月1日～平成26年3月7日
- 面接日程 エントリー受付後 平成26年3月19日まで
- 提出書類 エントリー時:指定書式のエントリーシート
一次面接通過者:指定書式の職務経歴書、志望理由書、研究計画書
二次面接の結果、内定を受けたもの:指定書式の出願書類
- 入学検定料 3万円

詳しくは <http://www.tama.ac.jp/ict/admission.html> をご覧ください。

お問い合わせ

多摩大学大学院 ビジネス ICTコース
ビジネス・データサイエンティスト養成プログラム

〒108-0075 東京都港区港南2-14-14 品川インターシティフロント5階
TEL: 03-5769-4170(代表) FAX: 03-5769-4173
WEB: <http://www.tama.ac.jp/ict/>

多摩大学大学院 品川サテライトのご案内



電車利用案内

◎ JR・京浜急行電鉄 品川駅 港南口より徒歩2分



多摩大学 大学院ビジネスICTコース

ビジネスの知はデータに宿る。 現場の人間こそ、データから 知を引き出す力を身につけるべきだ!

日々蓄積されるビジネスデータ。データにこそビジネスの知が宿っています。この知を引き出すのが、統計学やデータ分析。しかしながら、これら統計学やデータ分析の力は、社内の一部の部署や専門家がマスターすればよいというものではなく、

今、求められるのは、ビジネスの最前線で活躍するビジネスパーソンがデータ活用力を身につけること。まさに、「ビジネス」データサイエンティストが求められています。

そのために必要なのは、3つの力：「データ分析力」「データマネジメント力」そして「ビジネスデータ活用力」。多摩大学大学院では、これら3つの力を身につけ、データをビジネスに活かせる人材を養成する場として、2014年4月から「ビジネス・データサイエンティスト養成プログラム」を開講します。



ビジネス・データサイエンティスト養成プログラム 5つの特徴

特徴 1 分析手法を単なる知識としては学ばない
多摩大学大学院は『実学』志向。ビジネス・データサイエンスを理論ではなく、武器として習得をすることを目指します。

特徴 2 2年を待たずに成果を得る
成果を出すのに2年も待てないということが多くはまずです。月に一回（土曜日）、院生が抱える課題について発表・議論する場を確保し、「今、解決したいことは今、挑む」というスタイルを採用します。

特徴 3 充実の講師陣による経営実学指導
実学とサイエンスとの融合。データ分析、データマネジメントのスペシャリストに加え、コンサルティングや戦略立案などを行ってきた経験豊富な教授陣が指導を行います。

特徴 4 先端事例と現場で活躍中のデータサイエンティストに学ぶ
最前線で活躍中のデータサイエンティストによるオムニバスの講義を展開することで、アカデミックとビジネス・データサイエンスの現場をリンクした学びの場を展開します。

特徴 5 ビジネスパーソンならではの学びをサポート
平日週2日+月1回土曜日、通学しやすい都心キャンパス(品川)で開講。ビデオ補講もあります。MBAコースの講義も受講でき、社会人の学習支援対象コースとして補助金の活用も可能です。(厚生労働省の教育給付制度の対象コースです)

ビジネス・データサイエンティストのための特徴あるカリキュラム

3つの科目群と演習・プロジェクト

ビジネスデータサイエンス実践

コーディネーター:豊田 裕貴教授

ビジネスでデータを活用するには、何をデータから引き出し、どう使うかを常に意識する必要があります。ビジネスデータサイエンス実践では、様々な手法やデータをいかに組み合わせるかを、ビジネス視点により検討し演習する形式で学習します。

■展開科目

ビジネスデータサイエンス実践Ⅰ:分析レシピアライティング (豊田 裕貴+特別講師)
ビジネスデータサイエンス実践Ⅱ:ビジネスデータマッピング (今泉 忠 +特別講師)
ビジネスデータサイエンス実践Ⅲ:問題解決とデータ分析 (志賀 敏宏+特別講師)
ビジネスデータサイエンス実践Ⅳ:先端事例とその活用 (特別講師)

※なお、ビジネスデータサイエンス実践では、特別講師としてデータサイエンティストによる講義を展開します(シンクタンク、リサーチ会社、ソフトウェアベンダー、IT企業などのサイエンティストに加え、アカデミックでの先端研究者を予定しています)

データ分析リテラシー

コーディネーター:今泉 忠教授

データ分析リテラシーでは、武器となる分析力を学習します。そしてこれらの知識を実際に使える武器にするために「R」という統計ソフト等を活用し、演習を中心に学習します。

■展開科目

データ分析リテラシーⅠ:ビジネスデータ分析入門 (豊田裕貴)
データ分析リテラシーⅡ:モデル分析 (今泉 忠)
データ分析リテラシーⅢ:統計学 (特別講師)
データ分析リテラシーⅣ:分類・機械学習 (特別講師)

データマネジメントリテラシー

コーディネーター:出原 至道教授

ビッグデータを扱うためには、データベース(DB)や分散処理の知識が必要になります。データマネジメントリテラシーでは、DBの構築・操作、そしてそれを活用するシステムについて事例と実際の操作演習と共に学習します。

■展開科目

データマネジメントリテラシーⅠ:DBとSQL (出原至道)
データマネジメントリテラシーⅡ:データマネジメントシステム (特別講師)

演習・プロジェクト

コーディネーター:今泉 忠教授、出原 至道教授、豊田 裕貴教授 他

ゼミに該当し、受講者の興味関心に応じてテーマを設定し学習します。データサイエンスの結果を用いるのは専門家とは限りません。結果を他分野の人にも理解できるようにまとめ、伝えることを重視した、ワークショップ形式の演習を行います。

MBA科目

ビジネスICTコースの院生は、MBAコースの科目も履修できます。以下の科目は、履修を推奨する科目です。

実践WEBマーケティング	(村山貞幸)	統計モデルの基礎	(岡太訓彬)
WEBマーケティング・イノベーション	(橋本大也)	ファイナンスマネジメント概論Ⅰ	(宇佐美洋)
マーケティングリサーチ	(朝野熙彦)	組織コンセプトと組織デザイン	(橋本忠夫)
SCM-IT	(松本忠雄)	ベンチャー経営	(柳 孝一)
ビジネスモデルジェネレーション	(紺野 登)	図解コミュニケーション	(久恒啓一) 等

多摩大学大学院 ビジネスICTコース コース長紹介



今泉 忠 Tadashi Imaizumi

プロフィール:多摩大学経営情報学部・経営情報学研究科教授。日本分類学会会長。日本行動計量学会理事。日本学術会議連携委員。統計検定運営委員会委員。統計的データ解析、とくに多変量解析を適用できる諸問題について、理論的研究と実際の解決法の研究を進めてきた。不十分な情報のもとでのモデル構成や非線形構造、時間的変化構造の分析法などをも扱っている。